

県立高校における長期入院生徒への学習支援事業

学びの改革支援課

1 現状と課題

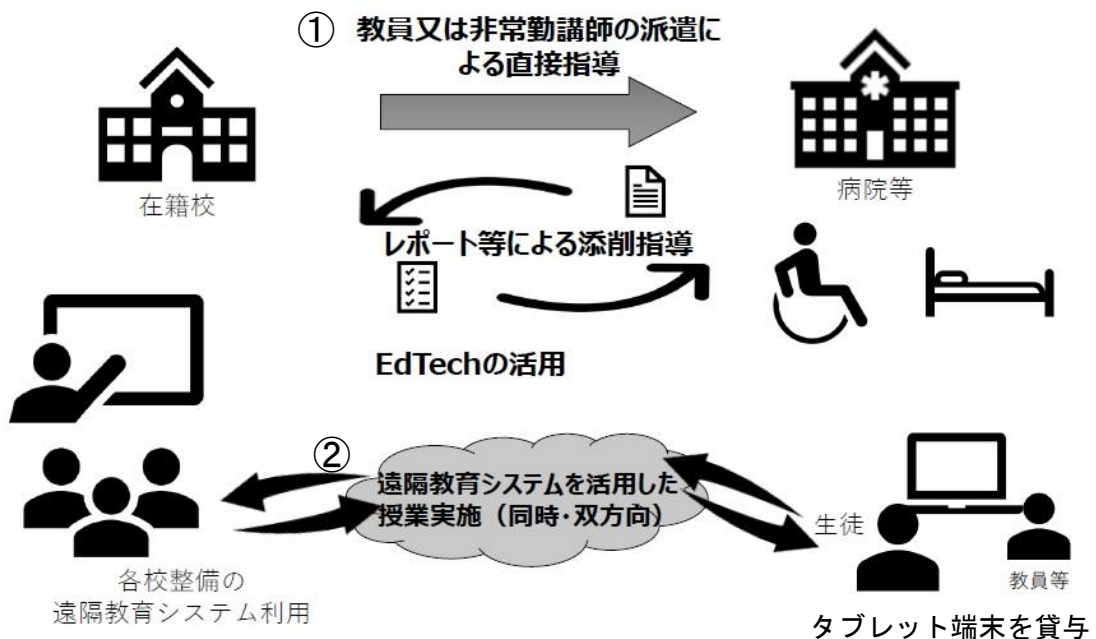
- R 元年度、県立高校に在籍する長期入院生徒の実態を調査
→学習支援のニーズのあった生徒は 18 名（10 月調査は 15 名）。うち 2 名に新たな支援を試行。
- 長期入院している生徒は、退院後の学校生活等について大きな不安を抱えている。
（出席時数の不足等による退学や原級留置、復学後の学力、クラスや学校との断絶感…等）
- これまでは、医療機関に入院生徒本人・保護者から修学の相談が寄せられても、学校と連携して修学体制を整える仕組みがなかった。

2 事業内容・・・『長期入院中の生徒への学習支援』

- ①20 日以上長期入院中の生徒に対して、教員又は非常勤講師派遣による直接指導を実施
- ②遠隔教育システムを活用した遠隔授業等、生徒のニーズに合わせた学習支援を提供

項目	実施内容・役割
コーディネーターの配置	・ワンストップ窓口として学校、病院、本人・保護者等との調整を行う。 ・支援の実施体制の構築や支援に必要な ICT 機器の手配等を行う。
学習支援員の派遣	実際に病院等で学習を行う際、必要に応じて非常勤講師等を派遣。
ICT 機器の活用	・遠隔教育システムや Edtech 等の ICT 機器を活用。 ・教室と接続した同時双方向の遠隔授業や個人学習等を実施。
関係機関会議	有識者等の第三者による事業の評価・検証。

入院時の学習支援 具体例



3 令和2年度予算額 509万9千円